

《担当者名》西塚 拓海

【概要】

この講義では、心理学研究において広く用いられている質問紙を使った調査研究に多用される多変量データ解析において用いられる代表的な技法を解説する。統計ソフトの活用方法を身につけることによって、統計学的な正しい知識に裏付けされたデータの分析方法や読み取り方法の知識、技術を身につける。また、多変量データ解析を活用した質問紙法の意義や実施の方法、結果の分析方法について理解を深め、調査研究の立案、質問紙の作成・分析を自ら行えるようになることを目的とする。

【学修目標】

HADを用いた各種統計技法の分析ができる。

質問紙法の目的・実施方法・結果の分析方法についての知識を身につけ、質問紙を作成できるようになる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	HADの導入	講義ガイダンス及びHADのダウンロードと初期設定を行う。	西塚 拓海
2	質問紙法の概観	質問紙法を用いた研究を概観する。	西塚 拓海
3	要約統計の技法	尺度水準、データの分布、代表値、散布度、統計的推定などの要約統計の技法を学ぶ。	西塚 拓海
4	t検定と分散分析	t検定、分散分析、主効果、多重比較、交互作用の技法を学ぶ。	西塚 拓海
5	相関と回帰	相関分析と回帰分析の技法を学ぶ。	西塚 拓海
6	重回帰分析	重回帰分析の技法を学ぶ。	西塚 拓海
7	因子分析(1)	因子分析の技法を学ぶ。	西塚 拓海
8	因子分析(2)	さまざまな因子分析の技法を学ぶ。	西塚 拓海
9	因子分析(3)	確認的因子分析の技法について学ぶ。	西塚 拓海
10	クラスタ分析	クラスタ分析の技法について学ぶ。	西塚 拓海
11	数量化分析	数量化分析の技法について学ぶ。	西塚 拓海
12	媒介分析	媒介分析、調整媒介分析の技法について学ぶ。	西塚 拓海
13	潜在ランク分析	混合分布モデル，潜在クラス分析，潜在ランク分析，混合分布回帰分析の技法について学ぶ。	西塚 拓海
14	質問紙の試作	質問紙の仮作成を行う。	西塚 拓海
15	質問紙の発表	作成した質問紙を用いた研究成果の発表を行う。	西塚 拓海

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポート(100%)の成績で評価する。

【教科書】

Excelで今すぐはじめる心理統計第2版 小宮あすか・布井雅人著 講談社

【参考書】

南風原 朝和 心理統計学の基礎 統合的理解のために(有斐閣アルマ) 有斐閣
鎌原雅彦・大野木裕明・宮下一博・中沢潤 心理学マニュアル質問紙法 北大路書房
小塩真司 心理尺度構成の方法:基礎から実践まで 誠信書房
高橋 尚也・宇井 美代子・宮本 聡介 心理調査と心理測定尺度:計画から実施・解析まで サイエンス社
村上 宣寛 心理尺度のつくり方 北大路書房
清水優菜・山本光 研究に役立つ JASPによる多変量解析 - 因子分析から構造方程式モデリングまで コロナ社
清水 裕士・荘島 宏二郎 社会心理学のための統計学[心理学のための統計学3] 誠信書房(2017)
清水優菜・山本光 研究に役立つ JASPによるデータ分析 頻度論的統計とベイズ統計を用いて コロナ社

【備考】

< ICTの活用 >

フリーの統計分析ソフトHADを毎回使用します。PCは必携です。

Google Classroomを利用して授業資料の配付と学習課題の提示、授業課題に関する公開の質疑等を行います。

【学修の準備】

前回の講義資料を精読し、内容を十分に理解しておくこと(80分)

授業内で課される課題を指定された期日までに提出する(80分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3.社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している。

DP2.社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師